

鷗朋会 第 66 回理事会議事録

- 日 時： 平成 30 年 11 月 4 日（日）14:30～15:30
- 場 所： 大阪府立大学海洋システム工学分野会議室
- 出席者： 岩崎会長(大学 20 期)、藤原副会長(大学 24 期)、城野(大学 8 期)、杉山(大学 12 期)、吉久(大学 13 期)、西田(大学 17 期)、松本(大学 19 期)、池田(大学 21 期)、三宅(大学 30 期)、坪郷(大学 39 期)、片山(大学 41 期)、中谷(大学 45 期)、新井(大学 48 期)、黒田(大学 51 期)、生島(大学 57 期)、松岡(大学 65 期)、畠中(大学 66 期)、山本(大学 66 期)（以上 18 名）
- 資 料： 鷗朋会 第 66 回理事会 議事次第
資料（1）2018 年度会計中間報告
資料（2）編集委員会報告
資料（3）2019 年度会計予算案
別紙 山崎先生退職謝恩会(案)

片山理事より開会の辞、岩崎会長より挨拶、議長に藤原副会長が推薦され承認された。

□議 事：

（1）報告事項

a) 2018 年度会計中間報告 （資料（1））

中谷理事より資料に基づき 2018 年度会計中間報告が行われた。

b) 編集委員会報告 （資料（2））

三宅理事より資料に基づき同窓会誌の発行状況に関する報告があり、以下の意見があった。

- ・ ニュースレター12号記載の山内氏の記事は意義があり、卒業後すぐの卒業生の意見があるのは良いのではないかな。
- ・ 卒業前に執筆予定者を指定するか、AO 入学卒業生に依頼しても良いのではないかな。

（2）協議事項

a) 2019 年度会計予算に関する件（資料（3））

中谷理事より、2019 年度の会計予算案が示され、以下の議論ののち承認された。

- ・ 以前は工学部の基準に準拠し事務員役務費を算出していたが、現在の算出方法はどのようになっているのかとの質問があった。
- ・ 現在の役務費算出方法を確認するとの回答があった。
- ・ 同窓会会費の見込み額について、活会員の 65%から支払いがあると仮定しているが、仮定している割合が高すぎるのではないかなとの意見があった。
- ・ 過年度の実績で 534 口の支払いがあったので、実際は 70%程度であったが、それより少なめに見積もっているとの回答があった。
- ・ つばさ基金と鷗朋会は関係ないのかとの質問があった。
- ・ 同窓会とつばさ基金は別であり、関係がないとの回答があった。

b) 山崎先生退職記念謝恩会(案) (別紙)

中谷理事より、今年度退職される山崎先生の謝恩会の案が示され、60 人程度の規模を予定しているとの説明があった。本件に対して以下の議論ののち承認された。

- ・ 賜朋会から赤字の際の補填などの支援を行う。黒字の際は本会へ寄付する。
- ・ 深沢先生の退職の際の謝恩会は 50 人規模であり、黒字であった。
- ・ 記念写真は送付せずホームページからダウンロードするものとする。

片山理事より閉会の辞。

以上

文責 生島一樹 (大学 57 期)